

# 2019 年度

## ロシア留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済サービス大学

実習期間：9月9日（月）～12月30日（月）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21018010

石山 希

## 目次

1	留学先および期間留学	3
2	留学先概要	3
3	留学の目的	4
4	留学内容	5
	4-1 留学のスケジュール	5
	4-2 授業の時間割	7
	4-3 授業の詳細	7
5	当初の目的および目標への到達度	11
6	反省・課題	12
	謝辞	12

	付録：研修日誌	13
--	---------	----

## 1. 留学先及び留学期間

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：令和元年9月9日(月)～12月30日(月)

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学は（ВГУЭС）は、1967年に開学されたウラジオストク市内の中心部に位置する国立大学である。ウラジオストクは、ロシアの極東部に位置し、人口約60万人の都市である。ウラジオストク国立経済サービス大学は、ウラジオストクで最高水準の教育機関の一つである。8学部を擁し、約1万5千人の学生が学んでいる。学内には、図書館、体育館、屋内プール、美術館、病院などの施設が設置されている。また学内のカフェや食堂は非常に人気があり、学生の憩いの場となっている。大学に隣接している学生寮は、1200名収容可能である。ロシア国内出身の学生と外国人留学生在が居住している。

### (2) 大学で行われる教育について

ウラジオストク国立経済サービス大学は、ロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けるなど質の高い教育を行っている。サービス業の専門家を養成する大学格付けでは全国1位を誇っている。

また、諸外国の大学と提携している。我々日本人のほかに、韓国・中国・アメリカ・ラオスの学生が留学していた。留學生は事前にテストを受け、その結果に応じてクラス分けを行う。そのため、自分のレベルに合った授業を受けることが可能である。また、クラスは10人～15人程度という少人数で編成されているため、より効率よく学ぶことができる。授業内では発言する機会が多く、ロシア語を話す機会が多く設けられている。語学だけでなくロシアの音楽、美術、歴史、地理といったロシアの文化に触れられる授業も行っている。

### 3. 留学目的

この留学の主な目的は、①ロシア語力の向上 ②異文化理解 ③国境を越えた友達を作ることである。

第一にロシア語を向上させるためには、ロシア語に触れる機会の少ない日本で学習を進めるだけでは足りないと感じた。日本では、文法や語彙力などを身につけることは可能であると考えられるが、話す力や聞き取る力を養うには不十分である。日常的にロシア語に触れられる環境、つまりロシアへ留学することが、一番効率が良いのではないかと考えた。授業や日常生活では、ネイティブスピーカーのロシア語を聞き取り、ロシア語を話す機会が多くなる。またロシアを訪れることで、今後のロシア語の学習への意欲向上も期待できる。

第二に、留学先では異文化に触れる機会が多くあると考えた。一番興味があるのは、やはりロシアの文化だ。ロシアの食文化、バレエやオペラなどの芸術を実際に体感したい。日本人とロシア人の考え方の違いにも注目していきたい。ロシア以外にも、同じくロシアに留学している諸外国の人々の文化にも触れることとなり、大きな刺激を与えられると考える。異文化理解を通して、自分の視野を広げていきたい。また、日本とロシアの文化の相違点や類似点を発見できれば良いと考えている。

第三に、留学中は多くの出会いがあると考えた。ロシアの人々だけでなく、あらゆる国の人々と関わることができる貴重な機会であるため、積極的に交流し、新たな価値観を獲得していきたい。多くの人々と交流できる留学という機会を利用して、地元の活性化に貢献することができるのではないかと考える。ロシアや他国の人々に新潟について紹介し、新潟の魅力について発信することも目標としてあげたい。

#### 4. 留学内容

以下に留学の内容を記述する。

留学中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

\* ВГУЭСで日本語を学んでいる学生が同伴。

月	日 (曜日)	スケジュール
9	9(月)	13:05 (日本時間) 成田国際空港 出発
		16:25 (現地時間) ウラジオストク国際空港 到着
		18:00 入寮
	10(火)	9:30 寮ホール集合
		9:45 両替 (学内の銀行)
		10:00 先生方の紹介
		12:30~13:30 昼食
		13:30 オリエンテーション
		14:30 学内案内
	11(水)	健康診断 (800ルーブル)
	12(木)	10:00 ロシア語のテスト (90分間)
	15(日)	韓国人留学生と市内観光
	16(月)	授業開始
	19(木)	スヴェトラーナ先生と散歩
		(停電の影響で、午後の授業がなかったため。)
	21(土)	* 市内観光①
	25(水)	授業なし。
		留学生交流イベント …サナトルナヤ駅の近くの公園でレクリエーションを行った。
	29(土)	День Тигра (トラの日) パレードに参加。
		…極東に生息するアムールトラなど自然保護への への関心を高めるためのイベント。

10	11(金)	バレエ「眠れる森の美女」観賞				
	13(日)	サーカス観賞				
	17(木)	授業後*ブリヌイ（ロシア料理）作り				
	20(日)	*市内観光②				
	24(木)	プレゼンテーションとワークショップ（日本の遊び）				
		…日本語を学ぶBΓYΘCの学生と先生方に、				
		ロシア語で新潟と新潟国際情報大学について紹介した。				
	27(日)	ルースキー島 観光				
	30(水)	Halloween Party (Speaking Club)				
11	1(金)	日本語クラブ・会話クラブに参加				
	2(土)	*プリモルスキー（沿海州）水族館				
	4(月)	民族統一の日…ロシアの祝日のため授業休み。				
		*トカレフスキー灯台 観光				
	7(木)	1, 2限：調理実習（ロシア料理：ボルシチ、アラジン）				
	9(土)	*お好み焼きづくり				
	16(土)	*日本文化フェスティバル				
	18(月)	初雪。雪の影響により休講。				
	22(金)	ДМСЕ (День межнационального студенческого единства) …ДВФУ (極東連邦大学) で行われた国際交流イベント				
	23(土)	*アルセーニエフ沿海地方州立博物館				
	24(日)	ロシア民族音楽コンサート				
12	11(水)	1限：Практический курс русского языка (文法) 小テスト				
	13(金)	4限：Беседы по истории России(歴史) プレゼン				
	18(水)	4限：Российский Дальний Восток (極東地理) テスト				
		Christmas Party (Speaking Club)				
	23(月)	1限：Практический курс русского языка(文法) テスト				
	24(火)	1限：Аудирование(リスニング) テスト				
		2限：Практикум по развитию речи(会話) テスト				
		4限：Основы иобращательной грамоты(美術) テスト				
	25(水)	2限：Чтение художественных текстов(長文読解) テスト				
	26(木)	1, 2限：お茶会/4限：Русские народные инструменты(音楽) テスト				
	27(金)	授業最終日				
	28(土)	バレエ「くるみ割り人形」観賞				
	30(月)	8:00 退寮				
	11:15 (現地時間) ウラジオストク国際空港 出発				6	
	12:30 (日本時間) 成田国際空港 到着					

## 4-2 授業の時間割

以下はグループ7の時間割である。

グループ7は、新潟国際情報大学の学生6名、韓国人学生6名の12名であった。

歴史・美術・地理・音楽の授業は新潟国際情報大学の学生6名と韓国人学生1名と一緒に授業を受けた。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	Практический курс	Аудирование	Практический курс	Практикум по	
8:30	русского языка		русского языка	развитию речи	
~10:00	(文法)	(リスニング)	(文法)	(会話)	
2限	Чтение художественных	Практикум по	Чтение художественных	Аудирование	Россиеведенис
10:10	текстов	развитию речи	текстов		
~11:40	(長文読解)	(会話)	(長文読解)	(リスニング)	(ロシア研究)
3限					
11:50					
~13:20					
4限	Беселы по истории	Основы иобраштельной	Российский	Русские народные	Практический курс
13:30	России	грамоты	Дальний Восток	инструменты	русского языка
~15:00	(歴史)	(美術)	(地理)	(音楽)	(文法)

## 4-3 授業の詳細

### 【授業全体の概要】

・事前に受けたロシア語のテストによってグループ1からグループ12までのクラスに分けられる。そのため、自分のロシア語のレベルに応じて授業を受けることができる。クラスは、10~15人ほどの少人数で編成されているため、発言の機会が多く設けられている。

・ほぼ全ての授業で PowerPoint が使われていた。

・授業で分からない箇所があればすぐに質問することができる。先生が丁寧に解説してくれるため、分からないままにしておかず、すぐに質問することを勧める。

・ロシア語には6つの格 (падеж) がある。

ロシア語を学ぶ留学生向けに、次のように各格に数字が振られている。授業中は、これらをよく使うため留学前に覚えておくことが望ましい。

1 падеж (主格)	2 падеж (生格)	3 падеж (与格)	4 падеж (対格)	5 падеж (造格)	6 падеж (前置格)
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------

◆ Практический курс русского языка(文法)

ロシア語の文法を学ぶ授業である。格変化を中心に学習した。

先生が文法の説明をした後、教科書の練習問題を解き、授業内で答え合わせをするというのが授業の流れだ。毎回の授業で、課題が出された（主に教科書の練習問題）。練習問題の他に、授業で習った格を使った会話文をペアで考え、発表する場合もあった。また、先生が習った内容に関連して、生徒一人一人に質問する機会が多くあった。初めのうちは、スムーズに答えることができなかったが、回を重ねるごとに自信をもって答えられるようになった。ロシア語の格変化を身につける上で、非常に効果的な方法であると感じる。

小テスト：2 падеж (生格)は用法が多いため、理解度を問う小テストが行われた。

テスト：試験時間40分。20問出題（20点満点）。

文中の（ ）の単語を正しい格に変化させる。習ったすべての格が出題された。

◆ Чтение художественных текстов(長文読解)

ロシア語の読解力を養う授業である。授業では、一人一人が教科書の文章を音読する。先生の指示に応じて、一文ごとに読んだり、段落ごとに読んだりする場合があった。課題は主に教科書の文章を読んで問いに答え、文章を要約して暗唱するというものだった。毎回、暗唱の課題に苦労したが、そこで一回覚えた単語は、頭に残りやすく定着しているため効果的な課題であったと感じる。また、教科書の文章の内容に沿って、自分のことについて文章を考え、発表するという機会もあったため、自ら新たな単語や新たな表現を学ぶことができた。

テスト：(1)自分の好きなテーマで5分スピーチ（テーマの例：将来の夢、家族、故郷など）

(2)先生に指定された教科書の文章を音読する。（授業で読んだもの）

◆ Аудирование(リスニング)

ロシア語を聞き取る力を養う授業である。教科書の音読・ディクテーションなどを行った。各テーマに沿って授業が進められた。授業で扱ったテーマは「自己紹介、電話、道案内、買い物、季節、健康、私の一日、余暇」である。

主な課題は教科書の新出単語を覚えてくるというもので、次の授業でディクテーションという形で小テストを行った。先生からは、進出単語を覚える際はただ書き出すだけでなく、実際に声に出し発音を確認することと、例文を作りその単語の使い方を理解することが重要であるというアドバイスをいただいた。

テスト：コンピュータ教室で行われた。ヘッドフォンをつけ、音声ファイル再生し、各自問題を解くという形式であった。全て選択式で、繰り返し聞くことができた。



#### ◆ Практикум по развитию речи(会話)

ロシア語の日常会話表現を学びながら話す力を養う授業である。テーマごとに重要表現を学習し、実際にそれらの表現を使ってみるという形で授業が進められた。授業で扱ったテーマは「自己紹介、道案内、電話、天気・季節、買い物・余暇・私の一日・病気・健康」である。教科書の会話文をモデルとして、ペアで会話の内容を考え発表するという課題がよく出された。

会話の教科書は完了体や不完了体についても取り上げられていたため、それについても学んだ。日本ではあまり完了形や不完了に触れていなかったため、間違えることも多々あったが、先生が丁寧に説明して下さったため理解することができた。

テスト：ペアごとにテーマに沿って会話を考え、先生の前で発表。

(テーマ：自己紹介、天気・季節、買い物、余暇・私の一日)

テスト当日にテーマが書かれたくじを引き、それによってペアが決まった。

会話の内容を考える時間が与えられ、その場で覚えて発表した。

#### ◆ Беседы по истории России(歴史)

帝国ロシアの歴史を学ぶ授業である。授業では、ロシアの歴史上重要な人物について中心的に学んだ。授業では、まず先生による歴史上重要な人物や出来事についての説明を聞いた後、プリントの文章を訳しつつ、一人一人が音読するという流れであった。今までに触れたことのないような難しい単語が数多く登場するため、予習復習に最も時間を費やした。最初からすべてロシア語で理解することは難しいため、まずは日本語でロシアの歴史について簡単に理解しておく必要があったと感じる。最初の頃は授業の内容を理解することに非常に苦労したが、先生がより分かりやすい単語やジェスチャーを使って説明してくれたことと、私たちのロシア語の語彙力の向上が重なり、留学の後半は円滑に授業を進めることができ、理解も深めることができた。留学の後半には、授業の内容をもとに、「その人物はどのような人物であるか、何を行ったか」などをまとめるというものや、文章中に登場する新出単語を簡単なロシア語で説明できるようにするというような課題も課されるようになった。

テスト：なし。

テストの代わりに、授業で習った内容をもとに PowerPoint を使用し、

ピョートル1世についてのプレゼンテーションを行った。(1人5分程度)

#### ◆ Россиеведение(ロシア研究)

授業の内容は、歴史と同じ。

#### ◆ Основы иобразательной грамоты(美術)

ロシアの芸術について学ぶ授業である。ロシアの有名な絵画や画家、伝統工芸品などについて学ぶ。ロシアの芸術に関する文章を読み解きながら学習を進めた。初回の授業では、色の名前や画材について学んだ。マトリョーシカなどの伝統工芸品の制作過程は映像を見て学んだが、非常に興味深い内容であった。授業では学ぶだけでなく、実際にロシアの伝統工芸品のホフロマ(Хохлома)やグジェリ(Гжель)風景画など作品を制作することも多かった。さらに ВГУЭСでデザインを学ぶ学生の協力のもと、粘土を用いてロシアの伝統工芸品も制作した。

テスト：ノートとプリントの内容から出題された。単語を説明する問題や授業で習った絵画について、絵の名前から画家を答える問題（選択肢あり）、ロシアの伝統的な工芸品であるホフロマ とグジェリについて問う問題が出題された。単語を説明する問題では、風景画、 風景画家、肖像画、肖像画家とは何かについて問われた。

《問題例》 Пейзаж(風景画)-это.....

#### ◆ Российский Дальний Восток(地理)

ロシア極東の地理について学ぶ授業である。授業ではウラジオストクを中心に、ロシア極東の祭日、気候、自然、動物、観光名所、特産物などについて学んだ。授業は、先生が各テーマについて PowerPoint で写真を示しながら説明してくれた後、プリントの文章を読み、問題を解くという流れで進んだ。単語の意味調べや本文の翻訳、本文を読んで問題を解くとい課題が毎回課された。この授業では、ウラジオストクで訪れるべき場所を先生が教えてくれるため、市内観光の際に非常に役に立った。

テスト：ロシア極東について次のようなことが問われた。すべて授業で習った内容であった。

- ①気候 ②祭日③ 博物館・劇場
- ④沿海地方に住む動物
- ⑤ウラジオストクの興味深い名所
- ⑥ウラジオストクでの生活について（どんなところが気に入ったか）

#### ◆ Русские народные инструменты(音楽)

ロシアの民族音楽について学ぶ授業。ロシアの伝統的な楽器や歌などについて学習した。初心者でも歌いやすい歌が紹介され、カラオケ音源に合わせてクラスの皆で歌った。Калинка と Катюша の2曲については歌詞に関する小テストが行われた。小テストの内容は、歌詞の穴埋めであった。またロシアの伝統的な楽器についての小テストも行われた。授業で習った弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器についてそれぞれ2つずつ答えるという内容であった。

テスト：ノートとプリントの内容から出題された。単語を説明する問題や授業で習った歌の中で何が1番好きか、理由とともに答えるという問題が出題された。単語を説明する問題では、国歌、指揮者、作曲家、オーケストラ、ソロ、デュエットとは何かについて問われた。

《問題例》 Оркестр (オーケストラ) -это.....

## 5 当初の目的および目標への到達度

### ① ロシア語力の向上：

留学前に比べ、圧倒的にロシア語を聞き取る能力が向上したとを感じる。留学中は授業だけでなく、日常生活においてもロシア語に触れる機会が多くあった。そのため、日に日に聞き取れるロシア語が多くなっていったように感じる。最初の頃は授業の内容が全く理解できず苦労したが、授業に備えて予習復習をし、課題をこなしていくうちに少しずつ理解できるようになったため良かった。また、授業ではロシア語を話す機会が多く設けられていたため、ロシア語を話すための良いトレーニングとなった。留学先でのロシア語の学習を通して、よりロシア語の力を身につけたいという向上心が芽生えた。

### ② 異文化理解

留学中はあらゆる形でロシアの文化に触れることができた。授業では、ロシアの歴史・美術・音楽などロシアの文化について学ぶことができた。授業内でロシアの伝統的な工芸品を作成したり、ロシアの民族楽器に触れたり、歌を歌ったりとロシアの文化を体験することができた。また休日には友人と、美術館や博物館に行き、本物の芸術作品や歴史的な展示物を見ることができた。ロシアの食文化においては、ロシア料理をただ食べるだけでなく実際にボルシチやブリヌイを作る機会があり、ВГУЭСの先生方や学生に調理方法やロシア式の食べ方などを教わった。本場のロシア料理を味わうことができ、非常に良い経験となった。ロシアでバレエやオペラなどの芸術鑑賞をすることもまた目的としていたが、留学中には二度バレエを鑑賞することができた。鑑賞中は、バレリーナの優美な演技と美しく非日常的な空間に圧倒された。

ロシア以外にも、他国の文化に触れることができた。大学では国際交流イベントがいくつか催されており、異文化に触れる機会を得ることができた。また、韓国の学生と交流する機会が多く、韓国の文化についてより興味を抱くきっかけとなった。

### ③ 国境を越えた友達を作る：

留学中は多くの人と関わる事ができた。特に寮で知り合った韓国人学生、日本

語を学ぶBГУЭСの学生とは一緒に市内観光をするほど仲良くなった。その他にも、クラスメイトの韓国人学生や Speaking Club に参加する学生、会話クラブに参加する学生の皆さんと交流することができた。

地元新潟の魅力を発信するという点においては、新潟についてのプレゼンテーションを通して、目標が達成できたのではないかと考えている。また、会話クラブなどの交流の場で出身地について聞かれることが多かったが、その都度新潟についてアピールすることができた。

## 6 反省・課題

ロシアでの4ヶ月間の留学生活は、新たな発見が多く、刺激的な毎日を送ることができた。4ヶ月間日本を離れロシアで生活をしてみて、ロシアの文化に触れ、ロシアの人々や他国の留学生たちと交流するという貴重な体験ができたことを非常に光栄に感じる。ロシアや他国の人々やそれぞれの国の文化に魅力に感化されるとともに、日本の見直すべき点や優れた点についても見つけることができた。日本人は他国の人々に比べ、周りを気にしすぎるところや消極的なところがあるが、自分を磨くために努力することで自信がつき、より積極的に行動できるようになると感じた。語学力をつけることもまた自信に繋がると考える。

今回の留学を通して、ロシア語の学習への意欲が向上し、さらに国際交流への関心が深まった。今後は、ロシア語をはじめとする語学学習により一層力を入れていきたい。また、国際交流を推進する活動に積極的に参加していきたい。

## 謝辞

今回、ウラジオストク国立経済サービス大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった先生方、私たちの生活をサポートしてくださった Yuliya Radaeva 先生、Anastasia 先生、職員の皆様、学生ボランティアの皆様、その他携わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。ロシア語の授業や留学前の事前研修などを通し、手厚く指導してくださったアレクサンドル・プラーソル先生、神長英輔先生に深く感謝申し上げます。

最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、今回の留学が実現し、貴重な経験をさせていただいたことを心より感謝いたします。

## 付録：研修日誌

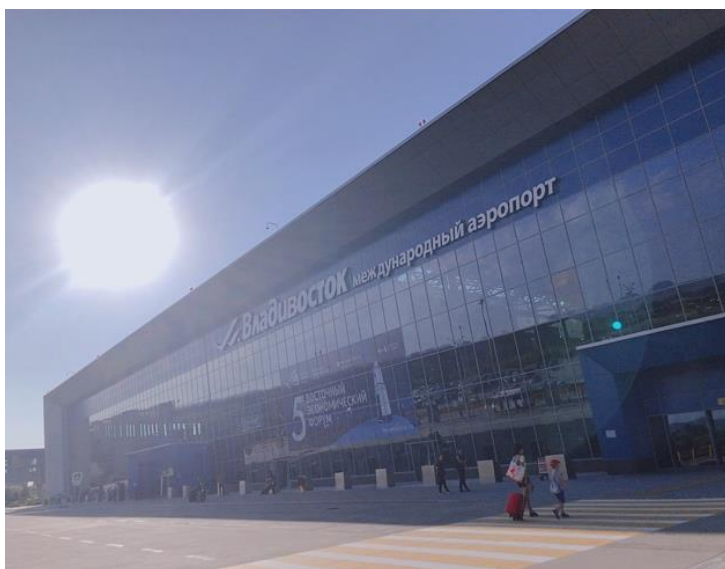
○9月9日(月)

### 出発&到着

自宅から成田空港までは新潟国際情報大学の6名全員ジャンボタクシーで移動した。台風15号の影響を懸念し、午前1時～3時にそれぞれの自宅から乗車した。通常新潟から成田空港までは5、6時間ほどで着くが、台風の影響で高速道路や下道が大渋滞となっていた。通行止めとなっているところもあった。9時間ほどかけて成田空港第二ターミナルに11時に到着した。その後神長先生と合流し、出発便のチェックインを済ませた。手荷物検査後、両替を行った(1万円⇒4800ルーブル)

13:05 (日本時間) 成田国際空港 出発
16:00 (現地時間) ウラジオストク国際空港 到着
18:00 入寮

日本での天気は大荒れであったが、ウラジオストクにつくと快晴であった。入国審査は、すべてロシア語であったため最初困惑したが、パスポートとVISAを見せると通してくれたため安心した。プラーソル先生とユーリアさんと合流後、ВГУЭСのバスで大学まで向かった。入寮後、先生方と大学近くのレミというスーパーで買い物をした。



▲スーパーで購入したもの。  
野菜・果物・米などの穀物・惣菜は  
量り売り。



○9月10日(火)

**・オリエンテーション**

オリエンテーションの内容：

① 先生方の紹介

ユーリア先生、ビクトリア先生、アナスタシア先生が紹介された。

② 留意事項について

パスポートを持ち歩く、夜遅くに一人で出歩かない、貴重品の管理を徹底するなど、留学生活で気を付けるべきことや寮での規則についての話があった。また今後の予定についても連絡があった。

③ 学内案内

ユーリア先生が学内を案内してくださった。校内には美術館があり、日本の絵画や模型が展示されていた。

○9月11日(水)

**・健康診断**

アナスタシア先生と学内の病院へ行き、健康診断（レントゲン・診察）を受けた。健康診断を受ける際は、受付で800ルーブルを支払った。

**・JUMP TOWN**

新潟国際情報大学の6名でJUMP TOWNというトランポリンができる施設に行った。大学のすぐ近くにあるため、おすすめである。受付の方がとても優しかった。トランポリンを楽しむロシアの少年たちに一緒に写真を撮ってもらった。



## ・韓国人留学生と食事会



寮で知り合った韓国人留学生であるソンさん、スーさん、キムさんと一緒に食事会を行った。お二方はとても流暢に日本語を話すことができるため、コミュニケーションをとる際に非常に助かった。日本の文化や韓国の文化、将来などの話で盛り上がった。政治上の関係と、個人の友好関係は全く関係ないことを実感した。

○9月12日(木)

## ・ロシア語のテスト

クラス分けテスト(90分)を受けた。テストは二種類あった。一つ目はパソコンで選択式の文法問題に答えるというもので、二つ目はアンケート形式の書き取りであった。書き取りの内容は、出身地や何年ロシア語を学習しているかなどをロシア語で答えるというものであった。

○9月15日(日)

## ・韓国人留学生と市内観光

同じ寮の韓国人留学生と共にウラジオストク市内を観光した。パフロスキー教会、噴水通り、中央広場、潜水艦博物館などを巡った。市内中心部は中国や韓国からの観光客で賑わっていた。

夜は海の近くの Marine Restaurant というお店で食事をした。韓国料理やクマエビなど提供していただいた料理はすべて美味しかった。美しい景色もまた楽しむことができ、有意義な時間であった。



○9月16日(月)

・授業開始

新潟国際情報大学の6名は全員グループ7に配属された。グループ7は我々6名と韓国人留学生6名の計12名であった。韓国人留学生の方のうちの1名は、社会人の方であった。

我々と韓国人留学生との間にロシア語力のギャップを感じた。彼らのロシア語の力に追いつくために、ロシア語の学習により一層励む必要があると強く感じた。

1 限文法：自己紹介と文法に関する簡単な小テストを行った。男性名詞、女性名詞、中性名詞について学んだ。我々の理解度に合わせて授業を進めてくれるため助かった。

2 限の長文読解：先生が PowerPoint を使ってウラジオストクに紹介して下さった。自分の故郷について質問をされたが、先生が話すロシア語理解することができず答えられなかった。

3 限歴史：女帝エカチェリーナについての文章を読んだ。教科書に書かれていることも先生の説明ももちろん全てロシア語であるため、非常に難しかった。

○9月18日(水)

・停電

停電の影響で大学近くのレミ（スーパー）が営業していなかった。

○9月19日(木)

・スヴェトラーナ先生と散歩

停電の影響を受けて、午後の授業がなくなったため、スヴェトラーナ先生に連れられ市内を散策した。パフロスキー教会やチョコレートのお店、カフェへ行った。





○9月21日(土)

**\*市内観光①**

BYEで日本語を学ぶスランさんとヴァイオレッタさんとともに市内を観光した。街の中心部のショッピングモールや日本のラーメン屋に連れて行ってもらった。路地裏にある日本の漫画（ロシア語版）を扱う本屋さんにも行った。



○9月25日(水)

**・留学生交流イベント**

サナトルナヤ駅の近くの公園へ向かった。各グループに2人ずつボランティアの学生がついてくれた。グループ7はアリーナさんとマーシャさんが担当してくれた。アリーナさんは、日本に留学した経験があり日本の文化に興味があると話してくれた。抹茶好きという共通点もあり、すぐに打ち解けた。

レクリエーションでは、ボランティアの学生が用意してくださったゲームをした。自己紹介ゲームを通して、交流を深めることができた。お昼には紅茶と共にブリヌイというロシア料理をいただいた。

午後は、ドラゴンボートというものを体験した。自分たちで漕ぐのだが、よく揺れるため、体感は非常にスリルのあるアトラクションという感じであった。



○9月29日(土)

・День Тигра (トラの日)

…極東に生息するアムールトラなど自然保護への関心を高めるためのイベント。

ВГУЭСの学生と一緒にパレードに参加した。大人も子供もトラの仮装をしてパレードに参加し、街中がとても盛り上がっていた。



○10月6日(日)

アリーナさんと一緒にカリナモールというショッピングモールに行った。店内にはスーパーマーケット・衣料品店・フードコート・映画館などがあり、とても充実している。ロシアの寒い冬に備えるためダウンコート、マフラー、手袋、ニット帽を買った。アリーナさんがどのようなものを買ったら良いかアドバイスをくれたので助かった。

○10月11日(金)

・バレエ「眠れる森の美女」観賞

マリンスキー劇場に行き、バレエを観賞した。バレリーナたちの美しい演技と煌びやかな舞台装飾に魅了された。



○10月13日(日)

・サーカス観賞

マリーナ先生の引率のもと、中国人留学生とともにサーカスを観賞した。定番の空中ブランコや道化芸だけでなく、バイクパフォーマンスなど初めて見るパフォーマンスもあり、見ごたえのあるものであった。ラクダや犬など本物の動物も登場した。



○10月17日(木)

**\*ブリヌイ (ロシア料理) づくり**

放課後、日本語を学ぶВГУЭСの学生と一緒にブリヌイを作った。ブリヌイはクレープロシア式の食べ方を教えてもらった。アリーナさんから、シルニキという白チーズを使ったパンケーキを振る舞ってもらった。

どれもとても美味しかったため、ぜひ日本の家族や友達にも振る舞いたいと思った。

○10月20日(日)

**\*市内観光②**

ВГУЭСの学生のヴェロニカさんとサーシャさんの案内のもと、市内観光をした。ニコライ二世凱旋門や極東最古の劇場であるゴーリキー劇場を紹介してくれた。市内を散策中は、街のいたるところにある銅像の歴史的背景を解説してくれたため良い勉強となった。

ブリヌイ専門店夕食をとった。このお店はブリヌイの種類が豊富であり、さらに日本語のメニューも用意されているためおすすめである。



○10月24日(木)

**・プレゼンテーションとワークショップ (日本の遊び)**

先生方と日本語を学ぶВГУЭСの学生に向け、新潟や新潟国際情報大学についてのプレゼンテーションを行った。新潟の歴史、地理、文化、産業についてと新潟国際情報大学について紹介した。すべてロシア語で発表することになっていたため、昼休みを利用してビクトリア先生、ユーリア先生、アナスタシア先生と一緒に何度も発音練習を行った。

発表後は、ワークショップを行った。ВГУЭСの学生に日本の遊び (折り紙・早口言葉) を教えた。まずは、みんなで鶴を折った。みんなが鶴に興味を抱いてくれ、完成品の写真を撮っている人も多く見られた。ワークショップでは、学生とコミュニケーションをたくさんとれて良かった。





○10月25日(金)

アリーナさんとグルジア料理店に行った。ヒンカリ（小籠包のようなもの）とハチャプリ（チーズ入りのパン）を食べた。このお店は観光客に人気のお店で、料理もとても美味しかった。また、店員さんの接客が非常に丁寧であった。また、外国人観光客に対しては英語で対応しており、配慮がなれていた。

その後、アリーナさんのお気に入りのカフェで抹茶ラテをいただいた。店員さんが茶筌を使って抹茶を点てている姿を見て驚いたとともに、感動した。



○10月27日(日)

#### ・ルースキー島観光

同じ寮の韓国人留学生とともにルースキー島を観光した。ルースキー島は市の中心部からバスに乗って1時間ほどで着く。景色が非常にきれいだった。



○10月30日

#### ・ Halloween Party(Speaking Club)

Speaking Club…毎週水曜日 16:50~(隔週 English/Russian)

今回は English Speaking Club であった。ハロウィンに関するアニメーションを觀賞し、アメリカ人留学生からはアメリカのハロウィンについて紹介してもらった。

○11月1日(金)

**・日本語クラブ・会話クラブに参加**

- ◆ 日本語クラブ…毎週金曜日 17:30~19:00  
毎週テーマに沿って、話し合う。日本語を学ぶウラジオストクの市民やロシア語を学ぶ日本人留学生やウラジオストク在住の日本人が集う。講義形式ではなく、ディスカッション形式で各言語を学ぶため、より効果的に言語学習ができるという点が魅力的である。



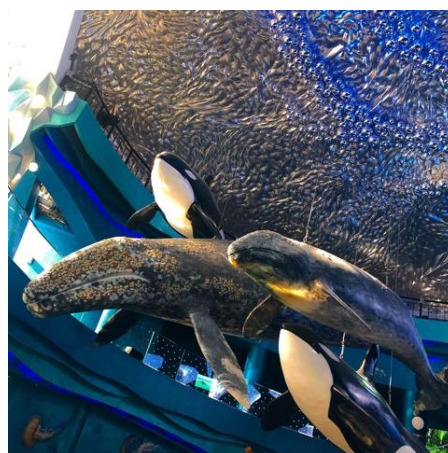
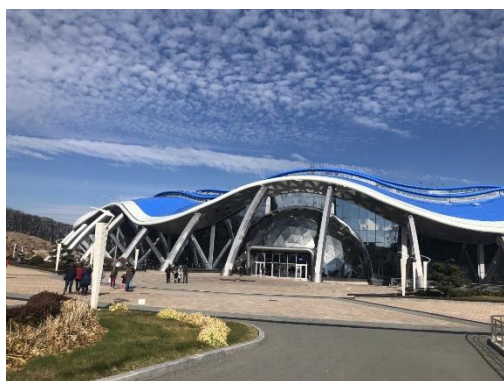
- ◆ 会話クラブ…毎週金曜日 18:30~21:00 ウラジオストク駅近くのレストラン Republic で行われる。主に極東連邦大学の学生と極東連邦大学に留学する日本人留学生が参加している。我々は日本語クラブに参加した際に、極東連邦大学に留学中の日本人の方に会話クラブに誘っていただいた。ロシア人と日本人、そして各言語を学習するまたは各文化に興味を持った人々が集う場である。



○11月2日(土)

**\*プリモルスキー（沿海州）水族館**

ВГУЭСで日本語を学ぶコスチャさん、キリルさん、ウラジスラフさんと一緒に水族館に行った。プリモルスキー水族館は、アムール川、ハンカ湖、日本海などロシアの領地に生息する水中生物を中心に集めた非常に規模の大きい水族館である。水中生物の他にも、水族館近くの公園や水族館施設内のオブジェもまた見事だった。特にイルカショーが興味深かった。イルカとトレーナーの方の演技が息ぴったりで圧倒された。その中で筋トレを披露する「ミーシャ」という名のセイウチも登場したが、大人気だった。



○11月3日(日)

グループ7の韓国人留学生と寮で食事会を行った。彼女たちはキムチポックンパという韓国料理を振る舞ってくれた。我々は、日本の肉じゃがを振る舞った、彼女たちに美味しかったと言ってくれたので良かった。

○11月4日(月)

民族統一の日…ロシアの祝日のため授業休み。

**\*トカレフスキー灯台 観光**

コスチャさん、キリルさん、ウラジスラフさんとトカレフスキー灯台を訪れた。

観光客が大勢訪れていた。とても寒いため、防寒対策が必須である。また、満潮時は灯台への道は渡れなくなるため注意が必要。





○11月7日(木)

・1.2限 調理実習 (ロシア料理：ボルシチ・アラジン)

1, 2限の授業の時間にビクトリア先生とスヴェトラナ先生と一緒に調理実習を行った。9時に集合し、レミで買い出しをした。その後寮のキッチンに向かい、先生方の指示のもと調理を行った。ボルシチは、肉・野菜を煮込んだ赤いスープである。アラジンとは、小麦粉と牛乳を混ぜ油で揚げたパンケーキである。両方とも美味しかったため、ぜひまた作りたい。ビクトリア先生が黒パンを用意してくださった。初めて黒パンを食べたが、酸味が強く日本のパンにはない味で驚いた。



○11月9日(土)

\*お好み焼きづくり

コスチャさん、キリルさん、ウラジスラフさんと一緒に寮のキッチンで、日本のお好み焼を作った。彼らにお好み焼は大好評であった。

○11月16日(土)

\*日本文化フェスティバル

ВГУЭСで日本語を学ぶ学生の提案で、日本の文化フェスティバルに参加した。日本酒を紹介する講義や新潟の和楽器ユニット・音魂による演奏、コスプレショーなどが行われていた。その他にも、書道を体験できるブースや日本酒を強いんでできるブース、日本食のフードコートが用意されていた。



○11月18日(月)

・初雪…雪の影響により、午後の授業が休講になった。

雪の降り始めは、雪の処理が追い付かないため交通網が機能しなくなるという。

○11月22日(金)

**・DMCE**

**(День межнационального студенческого единства)**

極東連邦大学で行われた国際交流イベントに参加した。極東連邦大学で学ぶ留学生たちが自国を象徴する歌やダンスのパフォーマンスを披露してくださった。



○11月23日(土)

**\* アルセーニエフ沿海地方州立博物館**

アルセーニエフ沿海地方州立博物館は、沿海地方自然や歴史が展示されている、民族学・考古学を中心に扱う博物館である。一緒に行ったキリルさんやソンさんが、展示物について解説してくださるのでとてもいい勉強になった。この建物もまた魅力的である。以前は、横浜正金銀行の浦塩支店が入居していたそうだ。

○11月24日(日)

**・ ロシアの民族音楽コンサート**

スヴェトラナ先生、マリナ先生、中国人留学生とともにロシアの民族音楽コンサートに参加した。歌や演奏を聞くためのコンサートだと思っていたが、実際行ってみるとお客さん参加型のコンサートだった。現地の方に交じって、ロシアの伝統的な踊りに挑戦した。その踊りは輪になって歌って踊るというスタイルだ。ペアとなった方がダンスをリードしてくださるので初心者でもなんとか楽しむことができた。ロシアの文化を体験できて良かった。

○12月11日(水)

**・ 1限：Практический курс русского языка(文法) 小テスト**

○12月13日(金)

**・ 2限：Беседы по истории России(歴史) プレゼンテーション**

歴史の授業では、テストの代わりにピョートル1世についてのプレゼンテーションの課題が出された。



○12月18日(水)

- ・ 4限：Российский Дальний Восток(地理) テスト
- ・ Christmas Party (Speaking Club)

○12月23日(月)

- ・ 1限：Практический курс русского языка(文法) テスト

○12月24日(火)

- ・ 1限：Аудирование(リスニング) テスト
- ・ 2限：Практикум по развитию речи(会話) テスト
- ・ 4限：Основы иобрашительной грамоты(美術) テスト

○12月25日(水)

- ・ 2限：Чтение художественных текстов(長文読解) テスト

○12月26日(木)

- ・ 1, 2限：お茶会

ビクトリア先生とスヴェトラーナ先生がロシア式のお茶会を催してくださった。紅茶とロシアのお菓子をいただいた。サモワール (самовар) というロシアの伝統的な金属製の給茶器を使って、紅茶を淹れてくださった。ロシアのクリスマス (新年) についても学んだ。

- ・ 4限Русские народные инструменты(音楽) テスト

○12月27日(金)

- ・ 授業最終日



○12月28日(土)

### ・バレエ「くるみ割り人形」観賞

まるでおとぎ話のかのような世界観に感動した。クリスマスの舞台装飾が非常に綺麗で、見入ってしまった。日本人のバレリーナの方が出演していた。



○12月29日(日)

Speaking Clubの皆さんと市内を散策した。ウラジオストクで自由に過ごせるのはこの日が最後であったため、最後に良い思い出を作ることができた。ВГУЭСの学生の方々には感謝の気持ちでいっぱいである。初めて凍った海の上を歩いたり、まだ行ったことのなかった場所に連れて行ってくれたりと彼らのおかげでさまざまな体験をすることができた。彼らとの別れはとても悲しいことであるが、またウラジオストクを訪れるためにより一層ロシア語の学習を頑張ろうという思いが強まった。



○12月30日(月)

・帰国

8:00 退寮

11:15 (現地時間) ウラジオストク国際空港 出発

12:30 (日本時間) 成田国際空港 到着

同じ寮の韓国人留学生ソンさんが見送りをしてくださった。

荷物の運搬や空港での手続きは、コスチャさんとキリルさんが手伝ってくださった。

この留学で出会ったすべての人々に感謝の気持ちでいっぱいである。